

グラウンドゴルフ

- ・ グラウンドゴルフってどんなスポーツ？

この競技は、ゴルフの楽しさを誰でも身近に味わう事ができるようにと、ゴルフをアレンジして考案された生涯スポーツです。1982年に鳥取県で誕生し、今では全国で50万人を越す愛好者がいます。

木製のクラブで同じく木製のボールを打ち、ホールポストに何打で入れることができるかを競うゲームです。ホールは通常8ホールで行います。ルールもとても簡単で、子供から高齢者の方まで、また男性でも女性でもファミリーでも、参加したその日から直ぐに楽しむ事ができます。

- ・ 用具について

用具は木製のクラブとボール、スタートマット、それにホールポストと呼ばれるホール用の器具を使います。クラブとボールにはセットで色分けがしてあり、どれが自分のボールか直ぐわかるように工夫されています。

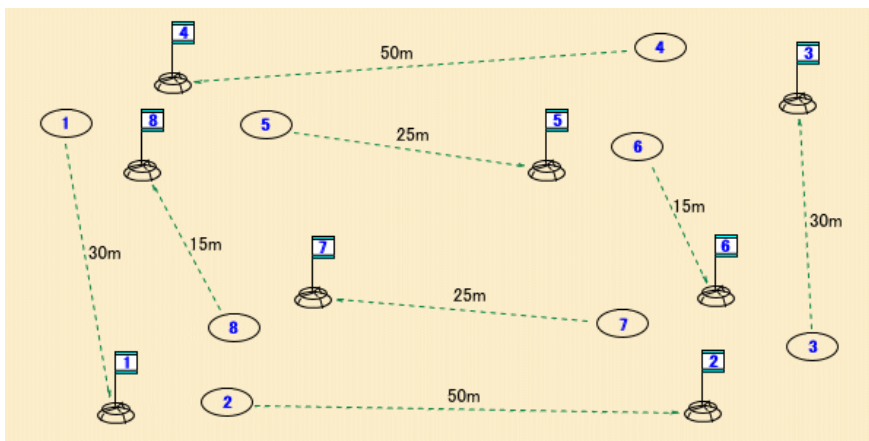


- ・ コース設定について

楽しむための場所は学校のグラウンドや広場が最適で、下の絵のような標準的なコース設定もありますが、その場所に合わせて自由な大きさにコースを設定することができます。

ホールは8ホールが標準で、コースの距離は15m ~ 25mくらいのショートコースと40m ~ 50m前後のロングコースを適当に組み合わせて設定するのが良いと思います。また大会のレベルに合わせてコース中に適当に障害物やOBラインを設けたり、池を設定したりすると一層楽しむこともできます。

< 標準コース >



スタート地点にはスタートマットを置き、危険防止のためこれを中心に直径2mほどの円を描いておきます。

- ・ ゲームの進め方

数人（3人～最大6人）が1組となって全ホールを順に回り、スコアを競います。最初のホールのスタート前に打つ順番を決め、スコアカードに名前を記載します。各コースの第1打はスタートマットのティーにボールをセットして打ちます。そして第2打以降は、ホールポストに遠い人から順に打って行きます。全員がホールポストの輪の中にボールを入れる（これを、「トマリ」と言います）事ができたら、全員の打数をスコアカードに記載し、次のホールに移動します。

次のホールでは、前ホール2番目の打順の人が最初に打ちます。このように各ホールでオーナー（最初に打つ人）は順繰りに変わります。

このようにして全てのホールを周り終えたら、全員のスコアを集計し、個人戦の場合はスコアの少ない人を勝ちとします。

団体戦の場合は合計スコアの少ないチームが勝ちになります。同点の場合は最小スコアの人がいるチームを勝ちにします。

- ・ 主なルール

プレイ中の判定は審判が行うのではなく、同伴のプレイヤーが公平に行います。

第1打が直接ホールポストの中に入った時は「ホールインワン」となり、この場合は、全ホール終了後の合計打数から3打を引く事ができます。

ボールはクラブのヘッドで正しく打ち、押し出すようにしたりかき寄せたりする事はできません。これを行った場合は2打と数えます。

空振りの場合は打数に数えません。

ボールが紛失したり、溝に落ちたりして打つ事ができない場所に入り込んだりした場合は、1打を付加し、ホールポストに近寄らない方向に1クラブ分だけボールを移動させ打つ事ができます。池やOBラインを設定してある場合も同じです。

プレイのジャマになるようなボールは一時的取り除く事を要求できます。この場合そのボールの持ち主はボールの後方にマークを置くか、地面にクロスの線でマーキングを行い、取り除かなければなりません。

プレイヤーのボールが他のプレイヤーのボールに当たった場合は、そのまま止まった位置から次の打球を行います。

但し、当てられた他のプレイヤーのボールは元に位置に戻してから次の打球を行います。

その他の詳細ルールについては、日本グランドゴルフ協会発行の公式ルールブックをご覧ください。